

さくらじまの 酒



いおワールド
かごしま水族館

特集「潮だまりの魅力」	2.3
いるかの時間・らっこの時間「高齢化するカイとチェリーの近況」	4
ここがみどころ「1階：貝の標本」	5
特別展示室「エイ大百科～水族館はエイのいえ～」	5
アクアラボ「目指せ！イルカのトレーナー」	6
錦江湾のなかまたち 53.「タツノイトコ」	6
かごしま水族館の海藻・海草展示	7
いおワールド通信	8

「生きた魚たちに会いたい！」というとき、
みなさんはどうしていますか？
「水族館に行く」?
水族館もいいけれど、
もうひとつのおすすめが、『潮だまり』です。



潮が引いたとき



潮が満ちたとき

「潮だまり」とは、いったいどういうものなのでしょうか？海は1日に2回、潮が満ちたり引いたりして、絶えず海水の高さが変わります。潮が満ちたときには、海岸の岩などは海の中に隠れます
が、潮が引いたときには、干上がって海の上に出てきます。このとき、岩のくぼみやさけ目に海水が残って、海から切り離された「水たまり」ができます。それが潮だまりです。

水たまりと聞くと、なんだかちっぽけなもののように感じるかも
しれませんが、実際には、指先くらいの小さなものから、子どもが泳
ぐことができるくらい大きなものまであります。丸いもの、四角いもの、
でこぼこなものなど、形もさまざまです。

そして、潮だまりの一番おもしろいところは、手軽にいろいろな海
の生きものを観察できるところです。

潮が満ちているとき、潮だまりは海とつながります。すると、海か
らさまざまな生きものたちがやってきます。そのまま通りすぎてしま
うものもいれば、そこにすみつくものもいます。いずれにしても、
潮だまりに見られる生きものたちは、潮が引いたときに閉じ
込められてしまった生きものたちなのです。

潮だまりには大小あると言いましたが、小さな潮だまりにもそ
うした生きものがたくさんいます。大きいところで泳ぎながら生き
ものを見るのも楽しいですが、小さくて浅いところで海水につかるこ
となく観察できる手軽さも、潮だまりの魅力のひとつなのです。

では、実際に潮だまりを見に行ったときの様子をお話しましょう。今年の5月4日に鹿児島県の薩摩半島にある磯に行つ
てきました。潮がとてもよく引く大潮の日で、天気も良く、潮だまりを見るにはもってこいでした。ここは潮が引くとかなり
広く岩盤がむき出しになり、浅くて観察しやすい潮だまりがたくさんあります。



まずは手始めに陸側から磯に入ってすぐの場所
にできた、海から少し離れた潮だまりをのぞいて
みました。最初に見かけたのは、まだ全長が1~2
センチくらいのドロメの稚魚でした。潮だまりに
よく見られるハゼの仲間で、黒い体に白い点が散
らばるのが特徴です。産卵期が春なので、今回は
ちょうどよいタイミングで群れている稚魚を見る
ことができました。

しお み りょく 潮だまりの魅力



トロメがいた場所のそばにある、岩の裂け目にできた潮だまりをのぞいてみると、赤黒い色をした頑丈そうなカニがい
ました。イボイワオウギガニです。甲の幅が5センチほどで、力の強いカニです。このカニも潮だまりでよく見られます。
岩にできた裂け目や小さい穴のような狭いすきまは、カニや貝など、いろいろな生きものが隠れ場所として利用していま
す。潮だまりで生きものを探すときには要チェックの場所です。



ドロメ



スリコキズタ



イソハゼの仲間



イボイワオウギガニ



ニセクロナマコ



トゲアシガニ



ジャノメアメフラシとガンガゼ



サンゴの仲間



ミスガイ

次に波打ち際にできた潮だまりを観察してみました。先ほどの潮だまりでは見ることができなかった、変わった形
をした岩のようないが見られました。テーブルのように広がった形をしたもの、突起物がたくさんつき出たもの、複雑
な模様が刻まれた彫刻のようなものなど、形はさまざまです。これらはサンゴの仲間です。潮だまりでは、なんと海に入ら
ずにサンゴも見ることができます。

この他にも、10種類以上の魚の他、エビ、カニ、貝、サンゴ、ウニ、海藻など、さまざまな生きものを見つけることができ
ました。特に、写真で紹介しているミスガイは、毎回見られるとは限らない種類で、そうした生きものに偶然出会えるのも潮
だまりの魅力と言えます。これほど多くの生きものを見つけるのに要した時間はわずか1時間ほどでした。潮だまりが、いかに手軽に生きものを観察できる場所であるか、おわかりいただけたかと思います。

夏から秋にかけてはもっと生きものの種類も増えます。一度潮だまりを見に海へ足を運んでみてはいかがでしょうか。
(丹羽裕介)

潮だまりは楽しいところですが、危険もあります。事前にしっかりと準備してから行きましょう。

※ 岩だけがをしないよう、軍手をはめ、サンダルではなく靴をはくようにしましょう

※ 炎天下では帽子をかぶり、熱中症にならないように十分に水分を補給しましょう

※ 毒をもつ危険な生きものもいますので、よく調べておきましょう

※ 潮見表などで潮が引く時間を確認し、夢中になりすぎて海に取り残されないように気をつけましょう

**いるかの時間
こうれいか
高齢化するカイとチェリーの近況
きんきょう**

かごしま水族館には「カイ」と「チェリー」の2頭のラッコがいます。カイは17歳、チェリーは16歳くらいです。カイは、平成5年8月3日に大分マリーンパレス（現在のうみたまご）で誕生し、マリンワールド海の中道（福岡市）から、ブリーディングローン（繁殖を目的とした生き物の貸し出し制度）によりやってきました。

毛づくろい



一方、チェリーは神経質でいつも周りを見渡して、警戒をおこりません。カイ同様に、餌の好みが変わるのが、あまり好きではない餌の時には、食べながら細かくちぎって捨ててしまい、すぐに次の餌をもらいに来るという食べ方をします。

水族館のラッコの生活は、食べ物を探しているか、食べているか、毛づくろいしているか、眠っているかです。特に、12:00の食事の時間の後は、14:30の食事の時間まで眠っていることが多く、水の上でお腹を上にし、前足を小さく前ならいをするように寝ています。また、チェリーは時々、岩に前足とあごを乗せて寝ついています。昼間はあまり陸にあがらない2頭ですが、夜は水槽のまん中に岩にあがってよりそって眠ることもあります。

**日本のかわいらしい
こうれいか
日本の水族館のラッコたちは高齢化が進んでいるのですが、野生から新しく若い個体を輸入できないことから、年々展示することが難しくなってきます。寿命が18年といわれるラッコの中では、かごしま水族館にいる2頭は高齢の部類に入りますが、年をとってもかわいらしいしぐさは健在ですので、ぜひチェリーとカイを見にきてください。**

船川 賢治

餌を食べているチェリー



かごしま水族館には「カイ」と「チェリー」の2頭のラッコがいます。カイは17歳、チェリーは16歳くらいです。カイは、平成5年8月3日に大分マリーンパレス（現在のうみたまご）で誕生し、マリンワールド海の中道（福岡市）から、ブリーディングローン（繁殖を目的とした生き物の貸し出し制度）によりやってきました。

毛づくろい



一方、チェリーは神経質でいつも周りを見渡して、警戒をおこりません。カイ同様に、餌の好みが変わるのが、あまり好きではない餌の時には、食べながら細かくちぎって捨ててしまい、すぐに次の餌をもらいに来るという食べ方をします。

水族館のラッコの生活は、食べ物を探しているか、食べているか、毛づくろいしているか、眠っているかです。特に、12:00の食事の時間の後は、14:30の食事の時間まで眠っていることが多く、水の上でお腹を上にし、前足を小さく前ならいをするように寝ています。また、チェリーは時々、岩に前足とあごを乗せて寝ついています。昼間はあまり陸にあがらない2頭ですが、夜は水槽のまん中に岩にあがってよりそって眠ることもあります。

**日本のかわいらしい
こうれいか
日本の水族館のラッコたちは高齢化が進んでいるのですが、野生から新しく若い個体を輸入できないことから、年々展示することが難しくなってきます。寿命が18年といわれるラッコの中では、かごしま水族館にいる2頭は高齢の部類に入りますが、年をとってもかわいらしいしぐさは健在ですので、ぜひチェリーとカイを見にきてください。**

船川 賢治

**ここが
みどろ**

1階：貝の標本

1階「ワクワクはっけんひろば」に新たな展示コーナーが完成しました。貝類の標本展示です。これは、今年2月、鹿児島市内の小学校で以前校長をされていた先生から「長い間、集めてきたたくさんの貝があるので活用してほしい」と寄贈していただいたものです。国産の巻貝のなかまのサザエ科45種、タカラガイ科82種、二枚貝のなかまのイタヤガイ科36種、ウグイスガイ科18種をはじめ、陸産の貝類が58種、中にはヤコウガイ等の大型の貝類も40種ありました。その他にもオーストラリアなどの外国産の貝類まで含めると全部で2,006種にも及ぶすばらしい標本です。

これらの標本は、種子島や屋久島、徳之島、指宿などの県内各地や、時には県外や海外で自ら採集したり、

特別展示室

エイ大百科～水族館はエイのいえ～

期間：平成23年7月16日(土)～9月25日(日)

エイというとみなさんはどんな姿を連想しますか。円盤状の体で、海底の砂の中に潜み、毒針で身を守っているアカエイ？それとも、大海原を鳥のように羽ばたきながらゆうゆうと泳ぐマンタやマダラトビエイの姿でしょうか。

水族館の展示でもおなじみのエイですが、4mを越すほど大きい種類やサメ形・三角形・吻先がとがっていたりノコギリ状だったりと、さまざまな形や模様をしていることは案外知られていません。他にも赤ちゃんを産む

アカエイ



種や電気を出す攻撃方法など、興味深い暮らしぶりや意外な特技など、エイの世界を模型や標本なども織り交ぜながら魅力満載でご紹介します。

さらに今回の企画展では、エイ博士を招いた講演やエイ先生のエイクラフト、餌やり体験にエイタッチなどイベントもたくさん企画して、みなさんをお待ちしています。イベントは日によって違いますので、スケジュールをしっかりとチェックしてお越しください。

夏休みは水族館の特別企画展を見て、エイ博士になってくださいね。

シノメサカタザメ




漁業者等から譲ってもらったりして、約50年かけて集められたそうです。その多くは海岸に打ち上がった貝がらではなく、生きた貝の中身を除去して標本化しています。県内産のチマキボラ、テラマチオキナエビスなど、非常に貴重な標本も含まれています。

いただいた標本を、来館される皆様が自由に見たり触ったりできるように3月27日からワクワクはっけんひろばのカウンター前に標本棚を設置し展示を開始しました。

今後は、貝殻がもつ美しさや模様の違い、形のおもしろさを体験できる展示として、また水族館スクール等の学習活動の教材としても活用していきたいと思います。

(佐々木 章)



目指せ!イルカのトレーナー



水中を自由自在に泳ぎ回り、「いるかの時間」では派手なジャンプやいろいろな動きを見せてくれるかごしま水族館のイルカたち。そんなイルカたちの魅力を伝えるのが私たちトレーナーです。アクアラボではイルカのトレーナーを目指す一人の新人飼育員の奮闘記を紹介しています。

そもそもイルカのトレーナーには、どうやったらなることができるのでしょうか?実はイルカのトレーナーには特別な免許や資格などは必要ありません。私の場合はかごしま水族館のイルカ飼育の担当になったことがきっかけ

53.タツノイトコ

陸上は少しずつ暖かくなってきたものの、海中はまだ寒い春。かごしま水族館の近くにある、川のそばの、堤防に囲まれた穏やかな砂地のポイントに潜ると、海底にはアマモやヤマトウミヒルモなどの海草や、マメタワラやヒジキ、その他さまざまな海藻が見られました。海藻の根元に目をやると、なにやら不自然に伸びた枝の様なものが見られました。それがタツノイトコです。

タツノイトコは、タツノオトシゴと同じヨウジウオ科に属する10cmほどの細長い魚です。尾びれがなく、細い尾部で物に巻きつくことができるため、海藻や、海底のゴミなどの間によく探すと見つかります。とはいえ、擬態の名人です。近づいてもじっとして動かないで、慣れるまでは見つけることは難しいかもしれません。

気になる名前の由来ですが、タツノオトシゴに近いな

けです。

お客様にイルカのトレーナーのイメージを聞くと「イルカに合図を出す人」という答えが返ってきます。とても華やかなイメージをもたれがちですが、それだけではありません。イルカの餌を用意したり、バケツを洗ったり、プールの掃除をしたりと、裏方の地味な作業も多くあります。そして、トレーナー独特の仕事道具であるホイッスルとコーリングを身に付け、「いるかの時間」デビューに向けて特訓が始まります。

新人トレーナーは無事に「いるかの時間」に参加することは出来ているのか!?「いるかの時間」をご覧になってその目で確かめてみてください。
(前島浩樹)

不思議いっぱい!水の生きものの世界 ～アクアラボ～

2階「アクアラボコーナー」では、毎日違うテーマで水の生きものの世界を紹介しています。

様々な生きものの飼育にたずさわる職員が「おもしろいな」「不思議だな」と感じたテーマを、生体や映像、小道具などを使って楽しく解説します。魚はもちろん、イルカやカメ、カニやイカなどバラエティに富んだテーマは4ヶ月毎に変わります。ぜひ聞きに来てくださいね。

①11:45～ ②13:00～ ③14:45～
(日・祝日)①11:15～ ②13:00～ ③14:45～



錦江湾の なかまたち

今まであるものの、形態などに違いがあり、「いとこ」とされました。ちなみに近いなかまにタツノハトコという種もいます。「落とし子」に「いとこ」に「はとこ」。名前を聞いただけでも一度会いたくなる魚たちですね。

(山田守彦)



お客様にイルカのトレーナーのイメージを聞くと「イルカに合図を出す人」という答えが返ってきます。とても華やかなイメージをもたれがちですが、それだけではありません。イルカの餌を用意したり、バケツを洗ったり、プールの掃除をしたりと、裏方の地味な作業も多くあります。そして、トレーナー独特の仕事道具であるホイッスルとコーリングを身に付け、「いるかの時間」デビューに向けて特訓が始まります。

新人トレーナーは無事に「いるかの時間」に参加することは出来ているのか!?「いるかの時間」をご覧になつてその目で確かめてみてください。
(前島浩樹)

かごしま水族館の海藻・海草展示

かごしま水族館では開館以来、魚たちの背景にある海藻や海草も、人工物ではなくできるかぎり本物を展示しようと試みてきました。「海藻」はワカメやコンブなどおなじみの「海藻」。一方の「海草」は陸上で見られる植物と同じ種子植物で、根から養分を吸収し、花を咲かせ種子をつけます。木にたくさんの生きものが住みつくように、海藻や海草にも小さな生きものたちがたくさん暮らし、それを食べる生きものが集まり、海では豊かな生態系が築かれています。

リ根を張り、走根(ランナー)と呼ばれる根を水平に伸ばし、そこから新たな芽を次々と出しています。水槽のガラスが割れ、一度すべて移植しなおすといったハプニングも



海草の間をヘコアユが泳ぐ

乗り越え、3年以上生育しています。周りをヘコアユが泳ぎ、夜には海草にまぎれて休んでいます。植物は水槽内の栄養塩をどんどん吸収してくれますので、サンゴにも適した水質になります。南西諸島のサンゴ礁の生態系をそのまま水槽内で再現できているようで嬉しい思います。

4階鹿児島の海の水槽では、アマモ場の生物を展示しようと立ち上げた小さな水槽でアマモが根付き、植え替えることなく3年以上生育できています。となりの大きな水槽では植え替えが必要なのに何が違うのか悩ましいところであります。オオバロニアという海藻とヤマトウミヒルモという海草については、どちらの水槽でも繁茂し、数年にわたって展示をしています。



◀しっかり根付いているアマモ



大きなアマモ展示水槽



新しく立ち上げた小さなアマモ展示水槽

両者の違いはどこにあるのか…

繁茂した海藻や海草

しかし、試行錯誤のかいもあり、種類によっては展示を続けることができるようになりました。



水槽内いっぱいのサボテングサ

まうこともありましたが、環境を一定にする工夫をして、今では定期的に間引かないと水槽を覆ってしまうほどになりました。サボテングサの上にはヨコエビなど小さな生きものが住み、その周りをベラの幼魚やスズメダイが泳ぎまわってそれらを食べています。

また、リュウキュウスガモといった海草も、水槽内でしっか

海の植物を育てることは、光、海中の流れ、底砂、水質、そこに暮らす生きもの…まさに海の環境を再現することにつながります。近づけようすればするほど、なにげない海中風景が、複雑で絶妙なバランスでなりたっていることに気づかされ、畏敬の念を感じます。海藻が生え、目に見えないほどの小さな生きものから魚やエビまで、様々な生物が生き活きと生活している「海を切り取ったような一場面」をお客様に見ていただため、今日も試行錯誤を続けています。

(柏木由香利)

いおワールド 通 信



今年度から展示課に「学習交流班」が設置されました。学校や団体に対して、これまで以上に、水族館を学習活動の場として利用してもらうため、様々な取り組みを行っていく予定です。水族館でしか体験できない魅力ある新たなプログラムをどんどん開発し、より多くの人に、楽しみながら学んでもらえる場を提供していきますのでご期待ください。

「学習交流班」始動！

ワクワクきびなご塾 リニューアル

毎月第3土曜日のワクワクきびなご塾では、すべての講座が、親子参加できるようになりました。さらにフィールドで実施する「春夏秋冬 水族館から飛び出せ ワクワクきびなご塾」も新たに加わります。パワーアップしたきびなご塾に、ぜひご参加下さい。



(中畠勝見)

飼育の日

4月19日は「419」にちなんで日本動物園水族館協会が「飼育の日」としています。この日にあわせて、保育士の方々を招いての飼育体験を行ったり、イルカトレーナーを紹介するパネルや衣装、映像の展示を行ったりしました。お客様からは初めて知る飼育員の仕事に驚きや納得など、いろいろな反応が返っていました。これを機会に動物園・水族館の活動や仕事に興味を持ってもらえたうれしいです。



東日本大震災 被災地の方々・水族館へ元気を送ろう

3月25日、エントランスホールにて、NPOデフNet.かごしまとイラストレーター門秀彦さんが発起人となり、チャリティイベントが開催されました。段ボールを貼り合わせたキャンバスに、門さんや来館者の方々がクレヨンで思い思いの海の生きものを描き、温かな絵ができあがりました。また3時間で121,264円の募金が集まりました。皆さまのお気持ちを被災地の方々へお届けします。



ボランティアから

かごしま水族館のボランティアをしてみて

4月からボランティアとして参加。研修で順路・展示水槽などを覚えたつもりが、館内を回ってみると右往左往の状態がありました。来館者に「エイの梅干しのようなコブは何」「イルカは、芸を調教する人の顔を判別できるか」の質問を受けました。そのたびに職員に聞き、知識を得ている状態です。

自らも楽しみながら来館者のお役に立てたらと思っています。
(14期生 佐藤頼子)



編集後記

例年より8日早く梅雨入りしました。梅雨寒のせいか、朝の通勤も半袖では少し寒いくらいです。路面に積もった火山灰も、昨夕から降り続く雨ですっかり洗い流されてしまいました。

さて、隣接する水路に、冬を越したシラと、今冬に収集したマンボウに続き、5月下旬、黒潮大水槽で誕生したマダラトビエイの幼魚6尾を展示しました。この水路には屋内のプールから通路を抜けてハンドウイルカもやってきます。イルカと他の魚たちとの関係が気になりましたが、その心配は無用だったようです。網で仕切られていますが、海とつながる水路で、生きものたちがそれぞれに魅力を発信し、水路沿いを歩く人の目を楽しませています。

水路近辺がにぎわいゾーンへと大きく変身してほしいと願っています。(荻野)

